

朋 友

藤二中学校だより 第13号

令和3年 2月1日
栃木市立藤岡第二中学校
校長 栗原 茂



スローガン「自ら学び 生き生きあいさつ 心に感動」

立春

二十四節気では、大寒（今年は1月20日）から立春までの間は文字通り寒さが最も厳しくなる時期と言われています。1年で最も寒い時期が過ぎ、立春を迎えました。3年生は残りわずかとなった中学生生活を名残惜しむとともに、受験に向け毎日大切に過ごしていることと思います。最後まで粘り強く頑張ってください。1、2年生は学年のまとめと先輩になる心構えを養っていることと思います。それぞれが素晴らしい春を迎えるよう、努力を惜しまず頑張りましょう。もうすぐ春です。



校門の蟠梅

先輩に学ぶ

1月20日(水)

1年生が、部屋小の6年生に中学校生活の様子を説明する「先輩に学ぶ」の事業が行われました。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で小中合同の多くの行事が中止されましたが今回、実施することができ1年生にとってもとても有意義な時間になりました。

二中の様子や中学生としての心構え、勉強の仕方、部活動の意義、学校行事への取り組み方等説明することで、改めて自分たちの生活を顧み反省し、今後の学校生活に活かすことができる行事になりました。



お箏の授業

1月22日(金)

1年生の音楽の授業で「日本の伝統音楽に親しむ」の単元で、お箏の授業を行いました。例年外部から講師の先生をお招きして、授業を行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、音楽科教諭の新井先生の指導で図書事務の井腰先生にもお手伝い頂きました。生徒は一生懸命に練習し、2時間で「さくら さくら」を奏でることができました。生徒の感想でも、「初めてで難しかったけど、とても楽しかった」という声が上がりました。



小学校あいさつ運動

1月25日(月)

年3回予定していたあいさつ運動ですが、今年度初めて行われました。生徒会役員が小学生の登校時間に合わせて、小学校に赴き、あいさつ運動を行いました。中学生の「おはようございます。」の声に、小学生も大きな声で応えてくれ、お互いにすがすがしい朝になりました。部屋小の委員会の児童も一緒にあいさつ運動を行ってくれました。



3年生学年末テスト

1月27日(水)、28日(木)

3年生にとっては、中学校生活最後の定期テストになりました。3年間の学習のまとめのテストです。それぞれの思いを抱きながら、テストに臨みました。残すは、集大成の県立高校受験です。すでに、進路が決定している生徒もいますが、受験は団体戦とよく言われます。クラス全員で学習に取り組み、受験体制を整えましょう。

2年生立志記念スキー宿泊学習

当初、1月に予定していた2年生の立志記念スキー宿泊学習は、緊急事態宣言を受け、延期していました。二泊から一泊に縮小したかたちにはなりますが、3月18日(木)、19日(金)で実施することになりました。今後の感染状況によりますが、実施できることを願っています。

節分

今年の節分は2月2日です。なんと明治30年(1879年)以来124年ぶりです。節分は立春の前日。ほとんどの年で2月3日にあたりますが、地球が太陽の周りを1周すると1年ですが、厳密にいうと365日と約6時間かかり、ずれを調整するためにうるう年があります。地球が立春の位置を通過する時間単位で見るとわずかにゆらぎがあるため、立春の日付が前後するのだそうです。そのため節分の日も動くこととなります。